



HALION SYMPHONIC ORCHESTRA



Michael Ruf, Heiko Bischoff

改訂管理および品質管理 : Cristina Bachmann, Marion Bröer, Sabine Pfeifer, Heike Schilling

本書の記載事項は、Steinberg Media Technologies GmbH 社によって予告なしに変更されることがあり、同社は記載内容に対する責任を負いません。

本書に掲載されている画面は、すべて操作説明のためのもので、実際の画面と異なる場合があります。

本書で取り扱われているソフトウェアは、ライセンス契約に基づいて供与されるもので、ソフトウェアの複製は、ライセンス契約の範囲内でのみ許可されます (バックアップコピー)。

Steinberg Media Technologies GmbH 社の書面による承諾がない限り、目的や形式の如何にかかわらず、本書のいかなる部分も記録、複製、翻訳することは禁じられています。本製品のライセンス所有者は、個人利用目的にかぎり、本書を 1 部複製することができます。

本書に記載されている製品名および会社名は、すべて各社の商標、および登録商標です。

© Steinberg Media Technologies GmbH, 2010.

All rights reserved.

目次

- 5 **インストールと設定**
- 6 HALion Symphonic Orchestra VST Sound Instrument Set
 の世界へようこそ
- 6 完全版の購入方法
- 6 キーボードショートカットの取扱い
- 7 インストール
- 9 **概要**
- 10 ウィンドウについて
- 11 **編集**
- 12 概要
- 12 「Main」ページ
- 14 「Options」ページ
- 16 **デフォルトのキースイッチ**
- 17 キースイッチの割り当て

1

インストールと設定

HALion Symphonic Orchestra VST Sound Instrument Set の世界へようこそ

Steinberg の HALion Symphonic Orchestra VST Sound Instrument Set をご利用いただきましてありがとうございます。

HALion Symphonic Orchestra VST Sound Instrument Set は、Steinberg 社の主要 VST ワークステーションである HALionSonic 1.5 や HALion Sonic SE を拡張する音源で、素晴らしいバーチャルオーケストラをお届けします。コストパフォーマンスが高く、簡単な操作で、オーケストラの名曲や表現豊かなソロのほか、あらゆるジャンルの音楽に合う美しいアレンジサウンドを作り出せます。

フルオーケストラの感動的なパワー、表現能力、広大なダイナミックレンジを再現するこの VST Sound Instrument Set には、弦楽器（コントラバス、チェロ、ピオラ、およびバイオリン）、金管楽器、木管楽器、および打楽器のソロとアンサンブルサウンドを含む、数々の高品質なサウンドコンテンツが収録されています。これらのインストゥルメントによって、演奏表現とアーティキュレーションの幅が広がります。

HALion Symphonic Orchestra VST Sound Instrument Set の膨大なライブラリーは、柔軟性およびアクセス性に優れ、クラシック音楽だけでなく、ポップ、ロック、ヒップホップ、R&B など、あらゆる現代音楽のスタイルにも最適です。

HALion Symphonic Orchestra VST Sound Instrument Set は、優れた演奏性と妥協のないリアリズムの両方を実現するように設計されています。HALion Sonic 1.5 または HALion Sonic SE のカスタム「Edit」ページの高度な機能により、最も頻繁に使用する演奏技法やアーティキュレーションに 1 つのページから簡単にアクセスできます。この VST Sound Instrument Set は単なるサンプルライブラリーにとどまらず、本物のオーケストラサウンドの作成に必要な品質、多様性、および操作性を提供し、HALion Sonic 1.5 および HALion Sonic SE を大幅に拡張します。

HALion Symphonic Orchestra VST Sound Instrument Set を使った演奏をお楽しみください。

Steinberg チーム

完全版の購入方法

HALion Symphonic Orchestra VST Sound Instrument Set は、USB-eLicenser で体験版ライセンスをアクティベートした日から 60 日間無料で使用できます。この優れたインストゥルメントセットにご満足いただけたら、完全版をご購入ください。Cubase 6 ユーザーは、Steinberg 社のオンラインショップ (www.steinberg.net/jp/shop.html) にアクセスして、ユーザー限定の特別価格で HALion Symphonic Orchestra VST Sound Instrument Set を購入できます。

HALion Symphonic Orchestra および HALion Symphonic Orchestra 16 ビット版ユーザーの皆さま

16 ビット版またはパッケージ版の HALion Symphonic Orchestra をお持ちの方は、それらの製品をアクティベートしたライセンスを使用して、HALion Symphonic Orchestra VST Sound Instrument Set を無料で使用できます。

キーボードショートカットの取扱い

HALion Symphonic Orchestra VST Sound Instrument Set のキーボードショートカットの多くは「修飾キー」と呼ばれる命令用のキー (modifier key) と共に使用されます。このキーはオペレーティングシステムによって異なります。たとえば、取り消し操作の既定 (デフォルト) キーボードショートカットは Windows の場合、[Ctrl]+[Z] ですが、Mac では [command]+[Z] です ([command] はアップルマークのついたキー)。

本書では、修飾キーを伴うキーボードショートカットを記述する場合、まず Windows の修飾キーを挙げ、次のように記載します。

[Windows 修飾キー]/[Mac 修飾キー]+[キー]

たとえば、[Alt]/[option]+[Z] と記載されている場合、Windows では、[Ctrl] キー、Mac では [command] キーを押したままで [Z] キーを押すことを意味します。

同様に、[Alt]/[option]+[X] と記載されている場合、Windows では [Alt] キー、Mac では [option] キーを押したままで、[X] キーを押すことを指しています。また、上記の [Z]、[X] など、アルファベットや数字で表記されたキーは半角英数字を意味します。

本書では、右クリックを使った操作が出てくることもあります (コンテキストメニューを開くときなど)。Mac でシングルボタンのマウスを使用している場合は、[control] キーを押した状態で、該当する要素をクリックしてください。

インストール



HALion Symphonic Orchestra VST Sound Instrument Set をインストールする前に、以下をお読みください。

最小システム要件

HALion Symphonic Orchestra VST Sound Instrument Set を使用するには、コンピュータが以下の要件を満たしている必要があります。

Windows

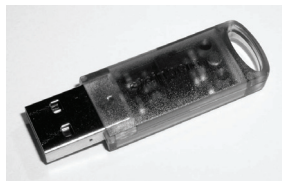
- Windows 7 (32 ビットまたは 64 ビット)
- デュアルコア CPU (Intel/AMD)
- 2GB の RAM
- 6.5GB のハードディスク空き容量
- HALion Sonic 1.5 または HALion Sonic SE (HALion Symphonic Orchestra VST Sound Instrument Set コンテンツの再生用)
- Windows 互換のオーディオデバイス (低レイテンシーのパフォーマンスには ASIO 準拠のオーディオデバイス推奨)
- 1280 X 800 ピクセルのディスプレイ解像度
- USB-eLicenser (別売)
- USB-eLicenser (ライセンス管理) 用の USB ポート
- デュアルレイヤー対応 DVD-ROM ドライブ (インストール用)
- インターネット接続環境 (ライセンスアクティベーションと登録用)

Mac

- Mac OS X 10.6 (32 ビットまたは 64 ビット)
- Intel Core 2 Duo プロセッサー
- 2 GB の RAM
- 6.5GB のハードディスク空き容量
- HALion Sonic 1.5 または HALion Sonic SE (HALion Symphonic Orchestra VST Sound Instrument Set コンテンツの再生用)
- CoreAudio 対応オーディオデバイス
- 1280 X 800 ピクセルのディスプレイ解像度
- USB-eLicenser (別売)
- USB-eLicenser (ライセンス管理) 用の USB ポート
- デュアルレイヤー対応 DVD-ROM ドライブ (インストール用)
- インターネット接続環境 (ライセンスアクティベーションと登録用)

USB-eLicenser

Steinberg 製品の多くは、USB-eLicenser というハードウェアコピープロテクションデバイスを使用します。アクティベートしたライセンスを備えた USB-eLicenser なしには、HALion Symphonic Orchestra VST Sound Instrument Set は動作しません。



USB-eLicenser

USB-eLicenser は、Steinberg ソフトウェアのライセンスデータを格納する USB デバイスです。ハードウェアプロテクトされた Steinberg 製品には、同じタイプの USB-eLicenser が使用されており、1 つの USB-eLicenser に複数のライセンスを格納できます。また、(一定の制限内で) USB-eLicenser 間でライセンスを転送することができます。これは、たとえばソフトウェアの一部を販売するときに役立ちます。

Cubase 6 の製品パッケージには、HALion Symphonic Orchestra VST Sound Instrument Set のアクティベーションコードが記載された「Essential Product License Information」カードが同梱されています。このアクティベーションコードを使用して、HALion Symphonic Orchestra VST Sound Instrument Set を 60 日間使用できる体験版のライセンスをダウンロードできます。

HALion Symphonic Orchestra VST Sound Instrument Set を無期限に使用可能にするには、Steinberg 社のオンラインショップで永続ライセンスを購入する必要があります。アクティベーションコードを受け取ったら、お使いのコンピュータに接続された USB-eLicenser にライセンスを手動でダウンロードします。

eLicenser Control Center では、新しいライセンスをアクティベートしたり、USB-eLicenser に格納されたライセンスを確認したりすることができます。eLicenser Control Center は、「スタート」メニュー (Windows) または「アプリケーション」フォルダー (Mac) から起動できます。

- **アクティベーションコードを使用してライセンスをダウンロードするには、eLicenser Control Center で「アクティベーションコードを入力」ボタンをクリックし、画面に表示される指示に従って操作します。**

⇒ コピープロテクトされた複数の Steinberg 製品を使用している場合、それらのライセンスを 1 つの USB-eLicenser に転送することもできます。これによって、使用する USB ポートが 1 つだけで済みます。ライセンスの転送方法の詳細については、eLicenser Control Center のヘルプを参照してください。

VST Sound Instrument Set のインストール

HALion Symphonic Orchestra VST Sound Instrument Set には大量のコンテンツが含まれており、片面 2 層 の DVD で配布されます。



HALion Symphonic Orchestra VST Sound Instrument Set は、プログラムファイルとコンテンツファイルを別々のハードディスクにインストールすることができます。

手順は以下のとおりです。

1. DVD を DVD ドライブに挿入します。
インタラクティブな Start Center が起動します。Start Center が自動で起動しない場合、または Mac を使用している場合、「Start_Center.exe」(Windows) または「Start Center.app」(Mac) ファイルをダブルクリックして手動で開くことができます。
2. 画面の指示に従って HALion Symphonic Orchestra VST Sound Instrument Set のインストールを開始し、追加のオプションや情報が表示されたらそれらを確認しておきます。

Start Center を使用せずに HALion Symphonic Orchestra VST Sound Instrument Set をインストールする場合は、以下の手順を実行してください。

Windows

1. 「Setup.exe」をダブルクリックします。
2. 画面に表示される指示に従って操作します。

Mac

1. 「HALion Symphonic Orchestra.mpkg」ファイルをダブルクリックします。
2. 画面に表示される指示に従って操作します。

2 概要

ウィンドウについて



HALion Symphonic Orchestra VST Sound Instrument Set は、HALion エンジンベースにしたプラグイン (HALion Sonic 1.5 または HALion Sonic SE) で使用できる、パーチャルインストゥルメントサウンドセットです。近い将来、このサウンドセットを使用できるさまざまなプラグインが発売される予定です。

マニュアルを開く

「Main」および「Options」ページボタンの右にある「?」ボタンをクリックすると、HALion Symphonic Orchestra VST Sound Instrument Set の PDF マニュアルが開きます。

プログラムのロード

HALion Symphonic Orchestra VST Sound Instrument Set から HALion Sonic または HALion Sonic SE に プログラムをロードするには、各プラグインで提供される方法のいずれか (「Load」ページ、「Load Programs」ダイアログ、または Cubase の MediaBay) を使用します。

- ⇒ Cubase の MediaBay でプログラムをダブルクリックしてロードすると、Cubase で HALion Sonic SE に関連付けられたインストゥルメントトラックが作成されます。HALion Sonic でプログラムを使用したい場合は、最初にインストゥルメントトラックを作成してからプログラムをロードします。

概要

HALion Symphonic Orchestra VST Sound Instrument Set のすべてのプログラムには、専用の「Edit」ページがあります。「Edit」ページでは、使用可能なすべてのパラメーターにアクセスできます。最も重要なパラメーターは、「Main」ページで直接設定できます。その他の設定は、「Options」ページで行なえます。

「Main」ページ

HALion Symphonic Orchestra VST Sound Instrument Set のレイヤーには特別なコントロールセットがあり、編集を簡単に行なえます。左上のリストには、レイヤーに使用可能なエクスプレッションが表示されます。通常、1つのエクスプレッションは、インストゥルメントの特定の演奏技法を表します。下部のウィンドウセクションには、「Voice & Pitch」と「Amplifier」設定があります。



「Expressions」セクション

「Expressions」リストには、「On」、「Expression」、「Sw」、および「Mute」の4つのコラムがあります。

- エクスプレッションをロードするには、「On」ボタンをクリックします。このオプションを使用して個々のエクスプレッションをオフにすることで、RAMの使用量を減らせます。ロードされていないエクスプレッションに切り替えることはできません。
- 「Expression」コラムには、エクスプレッションの名前が表示されます。
- 「Sw」(キースイッチ)コラムには、選択したキースイッチモード(下記を参照)に応じて異なるコントロールが表示されます。デフォルトでは、エクスプレッションに割り当てられた内部キースイッチが表示されます。

- 「Mute」コラム内のボタンをクリックした場合、そのエクスプレッションは再生されません。ボタンを再度クリックすると、エクスプレッションが聴こえるようになります。

キースイッチモード

HALion Symphonic Orchestra VST Sound Instrument Set のエクスプレッションキースイッチは、演奏可能な範囲を最大にするために低いキーに設定されます。これは内部的に変更できません。

ただし、別のキーボード範囲へキースイッチのシフトが必要な場合があります。また、MIDI コントローラーを使用してエクスプレッションを選択したい場合もあります。これらを行なうには、「Remapped」または「Controller」キースイッチモードのいずれかに切り替えます。

- 内部キースイッチの割り当ては、キースイッチモードの選択には影響せず、常に動作します。最後に受信したキースイッチが常に優先されます。

使用するキースイッチモードの設定手順は以下のとおりです。

- 「Expressions」セクションの右上(スクロールバーの上)にある三角形をクリックして、「Options」ポップアップメニューを開きます。
- 任意のモードを選択します。

選択可能なモードを以下に示します。

Key Switch

「Key Switch」モードでは、内部キースイッチの割り当てが使用されます。キースイッチはリストに表示されます。

Remapped

「Remapped」モードでは、固定された内部キースイッチの割り当てを、MIDI キーボードの演奏可能範囲に移動できます。各エクスプレッションには、内部キースイッチの MIDI ノートと、再割り当てされたキースイッチの MIDI ノートがその名前の横に表示されます。内部キースイッチの MIDI ノートは表示のみで、編集できません。

内部キースイッチを移動する手順は以下のとおりです。

- モードを「Remapped」に設定します。
 - エクスプレッションを再割り当てしたい MIDI ノートを入力します。
- キースイッチに使用する MIDI ノートは、サンプルのトリガーには使用できなくなります。

Controller

「Controller」モードでは、内部キースイッチをリモートコントロールする MIDI コントローラーを定義できます。定義された MIDI コントローラーでは、アクティブなエクスプレッション間だけで切り替わります。

MIDI コントローラーを割り当てる手順は以下のとおりです。

1. モードを「Controller」に設定します。
2. 「Options」ポップアップメニューを再度開き、「Learn CC」を選択します。
3. 任意のハードウェアコントローラーを操作します。

キースイッチモードのほかに、「Options」メニューには以下の項目があります。

「Temporary KS」モード

「Temporary KS」モードをオンにすると、デフォルト以外のエクスプレッションは、対応するキースイッチが押されている間だけオンになります。これによって、キースイッチを押すとノートに他のエクスプレッションがかかり、このキースイッチを離すと、デフォルトのエクスプレッションに自動的に戻ります。

Default Expression

「Default Expression」サブメニューでは、「Temporary KS」モードのデフォルトエクスプレッション、およびプログラムまたはレイヤーをロードしたあとにオンにするエクスプレッションを設定できます。

「Voice & Pitch」セクション

「Voice & Pitch」セクションでは、エクスプレッションのチューニングパラメーターにアクセスできます。これらのパラメーターを使用して、オクターブ、半音、セント単位でチューニングを調整できます。

使用可能なパラメーターを以下に示します。

- Octave (-4 ~ +4 オクターブ)
- Coarse (-12 ~ +12 半音)
- Fine (-100 ~ +100 セント)

「Expression Mode」および「Expression Controller」のオプション

HALion Symphonic Orchestra VST Sound Instrument Set のレイヤーは、複数のベロシティサブレイヤーで構成され、インストゥルメントのダイナミックレンジ全体をキャプチャーします。これらのサブレイヤーにアクセスするには、個別のベロシティ値を送信するか、または特定の MIDI コントローラーを使用します。

「Expression Mode」では、サブレイヤーを切り替える（サブレイヤー間を急激に変化させる）か、またはクロスフェードさせる（サブレイヤー間でブレンドさせる）かを指定できます。

「Expression Mode」と「Expression Controller」の設定は、以下のよう

モード	説明
Switch + Velocity	このモードでは、ベロシティだけでエクスプレッションがコントロールされます。技術的には、ベロシティ値で、対応するレイヤーが選択されます。高いベロシティ値では、フォルテッシモレイヤーが演奏されます。 インストゥルメントの通常の使用方法ではありませんが、サンプラーまたは他のキーボードのオーケストラサウンドを使用するキーボード奏者は、この演奏方法に慣れています。 このモードでは、連続したエクスプレッションコントロールができないことに注意してください。
Fade + Velocity	このモードでは、ベロシティだけでエクスプレッションがコントロールされます。ただし、2つのレイヤーが演奏およびクロスフェードされて、スムーズなトランジションが作り出されるベロシティ領域があります。
Fade + MIDI Controller	このモードでは、特定の MIDI コントローラーを使用して、複数のレイヤー（たとえばピアノッシモからフォルテッシモまで）をブレンドできます。これによって、最も本格的なサウンドと動作が得られます。ただし、音が聴こえるかどうかに関わらず、すべてのレイヤーを同時に演奏する必要があるため、CPU およびハードディスクへの負荷が最大になります。たとえば、バイオリンプログラムでは、各ノートに最大 4 つのステレオボイスが発音されます。
Switch + MIDI Controller	このモードでは、エクスプレッションコントローラーが、レイヤーをブレンドするのではなく、レイヤー間を切り替えます。ただし、ボリュームは連続的にコントロールされます。 聴こえるレイヤーが移動するデメリットがあるかわりに、各ノートに使用されるステレオボイスは 1 つだけのため、プログラムは性能が高くないシステムでも使用できるという、大きなメリットがあります。

「Amplifier」セクション

「Amplifier」セクションでは、エクスプレッションのレベルとパンの設定にアクセスできます。すべてのサンプルがステレオで録音されているため、ステレオパノラマに配置する前に、ステレオの幅を調整することもできます。さらに、アンプエンベロープのアタックタイムとリリースタイムを個別に調整できます。

Level

「Level」パラメーターでは、エクスプレッションのラウドネスを調整します。-∞ ～ +12dB の範囲でコントロールできます。

Pan

「Pan」パラメーターでは、ステレオパノラマでのエクスプレッションの位置を指定します。L100 ～ R100 の範囲でコントロールできます。

Width

「Width」パラメーターでは、サンプルのステレオイメージの幅を調整します。0% ～ +100% の範囲でコントロールできます。

Attack

「Attack」パラメーターでは、アンプエンベロープのアタックタイムのオフセットを設定します。-100% ～ +100% の範囲でコントロールできます。正の値に設定するとアタックタイムが短くなり、負の値にするとアタックタイムが長くなります。

Decay

「Decay」パラメーターでは、アンプエンベロープのディケイタイムのオフセットを設定します。-100% ～ +100% の範囲でコントロールできます。正の値に設定するとディケイタイムが短くなり、負の値にするとディケイタイムが長くなります。

「Options」ページ

「Options」ページを表示するには、右上角の「Options」ボタンをクリックします。



MIDI コントローラーポップアップメニュー

「Options」ページでは、プログラムに使用可能な 2 つの表現 (エクスプレッションとエクスプレッショ) のグローバルコントロール方法を定義できます。これらの表現は、MIDI コントローラー、ペロシティー、またはノートエクスプレッションコントローラーを使用してコントロールできます。これらのソースは、個別のカーブエディターに送信して、希望どおり動作するように編集できます。

コントローラーを割り当てる手順は以下のとおりです。

1. 「Expression」または「Expressivo」のポップアップメニューを開きます。
 2. MIDI コントローラー、ノートエクスプレッションコントローラー、またはペロシティーを選択します。
- ⇒ プログラムで「Expressivo」が使用されていない場合、コントローラーは割り当てられません。あとでコントローラーを割り当てても、影響はありません。

カーブエディター

カーブエディターでは、たとえば、リニアから指数または対数動作に、受信したコントローラーデータを変換できます。コントローラーの割り当てごとに、個別のカーブを設定できます。

カーブエディターには、現在選択しているコントローラーの設定が表示されます。

- コントローラーの設定を編集するには、編集したい表現の右の「Curve」ボタンをクリックします。

カーブエディターでは複数のカーブ形状を使用でき、右にあるカーブ形状ボタンをクリックして選択します。独自のカーブを設定するには、カスタムカーブボタン(左コラムの一番下にあるボタン)をクリックします。

「Custom」プリセットを選択すると、マウスで視覚的にカーブを編集できます。

- 新しいノードを挿入するには、エディター内をダブルクリックします。
- ノードを削除するには、そのノードをダブルクリックします。
- ノードを任意の位置にドラッグすると、カーブの基本的な形状を調整できます。
- 曲率を変更するには、ノードの間の線を上下にドラッグします。

カスタムカーブの管理

カスタムカーブの編集を選択すると、カーブエディターの下に、プリセット管理のための追加の行が現れます。ここでは、独自のカスタムカーブをロード、保存、および削除できます。

- プリセットをロードするには、プリセットセレクターをクリックして、ポップアップメニューで任意のプリセットを選択します。
- カスタムカーブをプリセットとして保存するには、プリセットセレクターの右にあるディスクアイコンをクリックします。
- 現在ロードしているカスタムカーブを削除するには、ごみ箱アイコンをクリックします。

「Pitch Bend」オプション

「Pitch Bend」パラメーターでは、キーボードのピッチベンドホイールで元のピッチをベンドできる量を定義できます。「Up」と「Down」に個別に範囲(-48 ～ +24 半音)を定義できます。

Alternation Enable Key

HALion Symphonic Orchestra VST Sound Instrument Set のプログラムの多くは、アップボウとダウンボウなど、交互レイヤーでの作業が伴います。デフォルトでは、このオプションは、演奏中に簡単にオンオフできるように、特定のキーに割り当てられています。このキーは、キーボード上で赤色で表示されます。

- 「Enable Alternation Key」値フィールド内をクリックして、ノートを発音するか、希望のノート番号または名前を入力すると、キーの割り当てを変更できます。
- ⇒ 交互レイヤーを含まないプログラムの場合、「Enable Alternation Key」パラメーターは使用できません。

キースイッチの割り当て

HALion Symphonic Orchestra VST Sound Instrument Set のすべてのプログラムは、同じタイプのエクスプレッションで同じキースイッチを共有するように設定されています。ただし、一部の例外があります。以下の表に、インストゥルメントグループごとのキースイッチ割り当てを示します。

キー	弦楽器 (tutti)	弦楽器 (solo)	木管楽器	金管楽器	打楽器
A-1	トリル (全音)	トリル (全音)	トリル (全音)	レガート (デフォルト)	
A#-1	スピッカート / スタッカート	スピッカート / スタッカート	スタッカート	スタッカート	
B-1	トリル (半音)	トリル (半音)	トリル (半音)		
C0	トレモロ / トレモロアクセント	トレモロ / トレモロアクセント	クレッシェンド / デクレッシェンド	クレッシェンド / デクレッシェンド	ロール
C#0	ピチカート (タイト)	ピチカート	アクセント	アクセント	
D0		オルナメント HT	オルナメント HT		
D#0	ピチカート (ルーズ)	クレッシェンド / デクレッシェンド		ディミヌエンド	
E0		オルナメント WT	オルナメント WT		
F0	エスプレシーボ	ロング (ファストでない)			
F#0	レガート (デフォルト)	ロングファスト (デフォルト)	レガート (デフォルト)		デフォルト
G0		ショートダウン			
G#0		ショート交互オンオフ			
A0	ポルタメント dn	ショートアップ			
A#0	ポルタメント oct				
B0	ポルタメント up				